

光のアーティスト
高橋匡太とつくる
参加型ライトアップ

今回のライトアップ
ポイント

- ① ライトアップエリア拡大!
- ② 話題のステンドグラスの塔、
《幸せをよぶシンフォニー彫刻》をライトアップ!
- ③ リニューアルオープンした
ピカソ館も 18:00 まで!

箱根ナイトミュージアム

NIGHT AT THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM

2019.11.29 fri - 2020.1.5 sun

ライトアップ | 16:45 ~ 18:00

(年中無休・9:00 開館・入館は 17:15 まで)

場所 | 彫刻の森美術館

※一部展示場は 17:00 閉館。ピカソ館は 18:00 まで鑑賞できます。

彫刻の森美術館
THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM

彫刻の森美術館（神奈川県箱根町、館長：森英恵）は、クリスマスへのカウントダウンが始まる季節から新しい年にかけて、屋外展示場と野外彫刻を活かした高橋^{きょうた}匡太によるライトアップ「箱根ナイトミュージアム」を今年も開催します。

高橋匡太（1970年京都生まれ、京都在住）は、照明や映像を巧みに操って光の可能性に挑んでいるアーティストです。越後妻有（新潟）で2011年から毎年開催されている雪アートプロジェクト《Gift for Frozen Village》、参加型のライトアップ《ひかりの実》などから、十和田市現代美術館（2008年・青森）や越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」（2017年・新潟）などの常設作品まで、幅広く活躍しています。

3年目となる今回は緑陰広場までライトアップのエリアを拡大、光に包まれたステンドグラスの塔《幸せをよぶシンフォニー 彫刻》には山中透による音楽も加わり必見です！あわせて今年の夏にリニューアルオープンしたピカソ館も18時まで鑑賞できます。

出会う彫刻や風景のライトアップの色に呼応して変化する提灯の光の美しさや、一人ひとりが参加することによって生まれる夜景を体感できるイベントです。

つきましては、「箱根ナイトミュージアム」を貴媒体で是非ご紹介いただきたく、周知・告知活動にご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。



■開催情報



- 【企画名】 箱根ナイトミュージアム
- 【ライトアップ期間】 2019年11月29日（金）～2020年1月5日（日）
- 【アーティスト・トーク】 2019年11月30日（土）、2020年1月4日（土）17:00～17:45
- 【ライトアップ時間】 16:45～18:00（入館は17:15まで）
※ 本館ギャラリー中2階・2階、一部屋外展示場は17:00閉館。
※ ピカソ館は18:00まで鑑賞できます。
- 【入館料】 大人1,600円、高校・大学生1,200円、小・中学生800円
※ ライトアップ体験も含む
※ 毎週土曜日はファミリー優待日（保護者1名につき小・中学生5名まで無料）
- 【アクセス】
〈電車・バスをご利用の場合〉
電車：JR小田原駅→小田急線箱根湯本駅→箱根登山鉄道「彫刻の森」駅下車、徒歩2分
バス：JR小田原駅→小田急線箱根湯本駅→箱根登山、伊豆箱根バス「二の平入口」下車、徒歩5分
箱根登山観光施設めぐりバス「彫刻の森美術館」下車

〈お車をご利用の場合〉
東名厚木IC→小田原厚木道路→国道1号線→宮ノ下交差点左折→強羅方面右折→県道723号線、約500m
東名御殿場IC→国道138号線→宮ノ下交差点右折→国道1号線→強羅方面右折→県道723号線、約500m
※ 美術館入館者は駐車料金5時間まで500円（乗用車）
- 【高橋匡太によるライトアップ場所】 彫刻の森美術館 円形広場、本館エリア屋外展示場、緑陰広場
- 【提灯貸出場所】 彫刻の森美術館 本館ギャラリー1階、緑陰ギャラリー1階（貸出無料）
- 【提灯貸出時間】 16:45～17:30（返却受付～18:00）
- 【主催】 彫刻の森美術館（公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団）
- 【協力】 カラーキネティクス・ジャパン株式会社、株式会社スタイルテック、株式会社ハートス、ブルーウェーブテクノロジー株式会社
- 【作品】 《Glow with Night Garden Project in Hakone》
高橋さんが考案した無線で色をコントロールするLED提灯を持って、彫刻庭園を巡ってみてください。
出会う彫刻や風景のライトアップの色に呼応して提灯の光が変化していきます。ライトアップの中に入りこむような感覚を体験できます。

■本イベントの見どころ

NIGHT
MUSEUM

1. 彫刻の森美術館でしか体験できない「特別なアートとしてのライトアップ」

様々なところで開催されるライトアップ。冬の夜を彩るイベントとして定着していますが、彫刻の森美術館では、野外彫刻をアーティストによるライトアップに取り込むことで、他との違いを打ち出しています。箱根の山の中で繰り広げられる、光のアートをお楽しみください。

2. 「夜景を一緒に作りあげる感動」

本イベントでは、無料で貸し出す提灯を持って夜の彫刻庭園を巡ります。出会う彫刻や風景のライトアップの色に呼応して光が変わる提灯を持った参加者の動きが、夜景を作りあげていきます。夜の屋外展示場を光でドローイングするような不思議な体験ができます。

3. ライトアップエリアを拡大。ピカソ館も 18:00 まで！

今まで本館エリア屋外展示場までだった高橋匡太によるライトアップが、今回は緑陰広場まで拡大されました。回遊できるエリアも広がり、去年や一昨年に体験した方も新しい発見があるはず。2019年7月にリニューアルオープンした「ピカソ館」も 18:00 まで鑑賞できます。



4. 話題のフォトジェニックスポット《幸せをよぶシンフォニー彫刻》をライトアップ！

SNS や TVCM など話題の《幸せをよぶシンフォニー彫刻》をライトアップ！ 外光が差し込む日中は塔の中から。日が暮れてからは、光に包まれた塔を外から。昼と夜、どちらも思わずため息が出るような美しい光の世界が広がります。また、山中透による音楽の演出が加わることで、光と音楽のコラボレーションを堪能できます。

《幸せをよぶシンフォニー彫刻》



日中の内観 ※ライトアップ時間は踊り場まで入場可



日中の外観



夜の外観

■アーティスト紹介

NIGHT
MUSEUM

高橋匡太 Kyota Takahashi

1970 京都生まれ。京都在住

1995 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

prize

- 2018 日本建築美術工芸協会 第28回 AACA 賞 30周年記念美術工芸賞受賞
- 2018 日本建築美術工芸協会 第28回 AACA 賞 優秀賞受賞
- 2018 照明学会 照明デザイン賞審査員特別賞 (《光り織》2017, 越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」, 新潟)
- 2018 照明学会 照明普及賞 (《光り織》2017, 越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」, 新潟)
- 2017 照明学会 照明普及賞 (《光の絹衣 / Vail of Silky Light》2016, ワコール新京都ビル, 京都)
- 2015 六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2015 主催者特別賞
- 2015 DSA 日本空間デザイン賞 2015 優秀賞
- 2014 第33回ディスプレイ産業賞 ディ스플레이産業特別賞
- 2014 第18回CSデザイン賞 中川ケミカル賞
- 2010 京都市芸術新人賞
- 2008 京都府文化賞 奨励賞
- 2005 グッドデザインアワード 2005 環境デザイン部門
- 2005 平成17年度五島記念文化賞 美術新人賞
- 2005 京都府美術工芸新鋭選抜展 2005 最優秀賞
- 2002 ART-EX 大阪府芸術家交流事業 選抜派遣芸術家
- 2002 京都市芸術文化特別奨励制度 特別奨励者
- 2001 ジャパン・アート・スカラシップ第1回現代美術賞 入選 (清水敏夫部門)
- 1995 キリンコンテポラリーアワード '95 最優秀作品賞
- 1993 京都市立芸術大学作品展 京都市長賞



art project

※主なものを掲載

Glow with City Project Glow with Nigt Garden Project



《Glow with City Project in Ashikaga》
足利灯り物語, 2019, 足利まちなか遊学館 / 利性院 / 旧東映プラザ / 鑲阿寺 / 足利尊氏公像 / 史跡足利学校, 栃木



《Glow with City Project in Kamakura》
長谷の灯かり, 2015, 長谷寺, 鎌倉



《Glow with Nigt Garden Project in Hakone》
箱根ナイトミュージアム, 2017, 彫刻の森美術館, 神奈川

Gift for Frozen Village



《Gift for Frozen Village 2018》
越後妻有 雪花火 2018,
あてま高原リゾート ベルナティオ, 十日町

ひかりの実



《ひかりの実》
箱根ナイトミュージアム きょうたさんと《ひかりの実》
をつくらう!, 2018, 彫刻の森美術館, 神奈川



《ひかりの実》
アートプロジェクト, 2017,
太田市美術館・図書館, 太田

public projection / lighting (2013 ~) ※主なものを掲載



《夢のたね 2018 Yamaguchi》
第 35 回全国都市緑化やまぐちフェア 山口ゆめ花博、
山口きらら博記念公園 海の大海原ゾーン、山口



《たてもののおしばい》
たてもののおしばい 歌舞伎町の聖夜, 2018,
歌舞伎町シネシティ広場, 東京



《ムーンリバー》
第 33 回国民文化祭・おおいた 2018 / 第 18 回全国障
害者芸術・文化祭おおいだ大会, 中津水灯り 2018,
日ノ出町商店街, 大分



《ひかりのクローバー》
ひかりの広場, 2018, 東九条・北河原市営住宅跡地,
京都



《くすのき並木ライトアップ》
観覧温室夜間開室とイルミネーション 2017,
京都府立植物園, 京都



《カオハメ・ザ・ワールド》
スマートイルミネーション横浜 2017, 象の鼻パーク,
横浜



《10 Days Older, Meeting Shadow Play》
クロージングイベント 富山県立近代美術館ライトアッ
プ, 2016, 富山県立近代美術館, 富山



《道後温泉本館ライトアップ 大遷暦のお色直し》
道後オンセナート 2014, 道後温泉本館, 松山



《光のレールウェイ》
東京ミテラス 2013, 東京駅前 行幸通り, 東京

installation (2013 ~)

※主なものを掲載



《ミシュレの『魔女』より》
六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2017, 六甲オルゴール
ミュージアム, 神戸



《いつかみる夢》
京都府美術工芸新鋭展 2013 京都美術ビエンナーレ,
京都文化博物館, 京都

permanent work



(イメージ)

京都市京セラ美術館プレオープンイベント
《高橋匡太による本館ライトアップ》、
2019.12.21 ~、京都市京セラ美術館、京都

京都市京セラ美術館リニューアルオープン 2019.3.21



《光り織》

2017, 越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館
「段十ろう」, 新潟



《光の絹衣 / Vail of Silky Light》

2016, ワコール新京都市ビル, 京都



《Color Globe》

2010, 愛・地球市民交流センター, 愛知



《いるとどりのかけら》

2008, 十和田市現代美術館, 青森

山中 透 Toru Yamanaka

《幸せをよぶシンフォニー彫刻》音楽

1960年 大阪生まれ。作曲家、プロデューサー、DJ。

学生時代、京都を中心に実験音楽系のフィールドで活動し、マルチ・メディア・パフォーマンス・グループ「dumb type」の立ち上げに参加。創世記のメンバーとして、音楽と音響を担当。いまでも続く伝説的なドラッグクイーン・イベント「Diamonds Are Forever」のDJ、主催者で、様々な分野の人々と積極的にコラボレーションを行っている。2019年よりダムタイプに再び参加。

2016 「三代目、りちゃあど」野田英樹脚本、オン・ケンセン演出
「街角」じゅんじゅん Science

2017 日置あつしダンス公演「極楽鳥の森」
MuDA「札幌国際舞踏フェスティバル」
「T/IT (寛容と不寛容)」Monochrome Circus 京都

2018 矢内原美邦「春夏秋冬」、大阪
「日置あつしダンス公演 極楽鳥の森」、沖縄
高橋匡太 《RED ROOM》RED ROOM#3 #4, YCC ヨコハマ創造都市センター, 横浜
高橋匡太 《興福寺中金堂ライトアップ》落慶記念特別夜間拝観, 興福寺中金堂, 奈良

2019 MuDA「K.R.O.P.P EXTENDED 2019」, スウェーデン
矢内原美邦「春夏秋冬」, インドネシア
高橋匡太 《RED ROOM "Bon Voyage!"》, YCC ヨコハマ創造都市センター, 横浜
高橋匡太 《タイムスケープ2019》駿府城ひかりのナイト, 駿府城公園, 静岡
ワークショップ「N-mark アートコレクティブ」, 名古屋
展覧会「ダムタイプ | アクション+リフレクション」(11月予定 / 東京都現代美術館)

2020 ダムタイプ新作(3月予定 / 京都) ダムタイプCD「S/N」再発予定
オン・ケンセン新作(4月予定 / 台北)

2016年より、dumb type 在籍時の楽曲を中心に演奏するソロ・ライブを定期的に行っている。CD、DVD 作品も多数発表している。



《RED ROOM》

RED ROOM#3, 2018,
YCC ヨコハマ創造都市センター, 横浜



《興福寺中金堂ライトアップ》

落慶記念特別夜間拝観, 2018,
興福寺中金堂, 奈良



《タイムスケープ2019》

駿府城ひかりのナイト, 駿府城公園, 静岡